

第18回心不全チーム医療カンファレンス「心不全在宅医療のポイント ―意思決定支援―」

開催日時：2022年12月1日(木)18:30-20:00

会場：ベルサール高田馬場 会議室1

参加者：75名

職種：医師、看護師、理学療法士、作業療法士、薬剤師、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー

テーマ

『心不全在宅医療のポイント ―意思決定支援―』

1. ショートレクチャー

「意思決定支援の大切なところー具体的な声の掛け方ー」

医療法人社団ゆみの 理事長 弓野 大

- ✓ 意思決定支援で大切なポイント
- ✓ 具体的にどんな場面でどのような声をかけるか

ゆみのハートクリニック 在宅療養支援室室長 齋藤 慶子

- ✓ 当院での意思決定(ACP)の実際
- ✓ 訪問診療開始時のインテーク
- ✓ 意思決定(ACP)のバトンをつなぐ
- ✓ 『今』を決めるとき、過去や未来、周辺要因が影響する

2. 症例提示

ゆみのハートクリニック 院長 田中 宏和

症例：89歳 女性

#慢性心不全 PS3, NYHA 3, EF 43%, NT-proBNP 12358 pg/ml

#陳旧性心筋梗塞(前壁中隔) #慢性心房細動 #僧帽弁閉鎖不全症(中等度) #三尖弁閉鎖不全症(重症)

- 心不全増悪による入退院を繰り返している高齢独居の女性
- ADL:屋内歩行可 屋外車いす Clinical Frailty Scale:6(中等度の虚弱)
- 心不全(うっ血+LOS)コントロールに難渋:心不全治療(薬物・非薬物)と症状緩和
- 最後まで寝室を移動したくない・お風呂に入りたいなどの希望があり、日常生活動作が心負荷となる
- 一人暮らしで隣の妹も高齢のためサポートは難しい

★ACP 本人:もう二度と入院せずに、最後まで自宅で過ごしたい。

娘(KP):最期まで家にいたいと言う気持ちを尊重したい

3.グループワーク

「意思決定支援の具体的な話し方とは？」

具体的な話し方

- ・「もしもの時のことを話し合っておけば、あとは生きることに全力投球できるので、話してみませんか？」
- ・「ここで死んでも良いのなら、とことん付き合うよ」
- ・「自分だったら、〇〇の選択肢を選びます」
- ・「何かお手伝いできることはありますか？」
- ・「これまではどのように受け止めてきたのですか？」

ACPを行う上での心構え

- ・悪くなることを経験することを、医療者も忍耐強く見守る
- ・表情など内面的なことを引き出す
- ・1人で進めていくのではなく、多職種で進めていく

どのような時に？

- ・女性はやさしくなった時、男性は文句を言った時に心と体に余裕があるため、その時に話をする
- ・日々のケアの中で情報を集めて、担当者会議などの時に「あの時こうってましたけど、今どのような思いですか？」と質問して共有する
- ・ポロっとでた言葉を大事にして、そこから広げていく
- ・元気なうちに、どうしたいかと聞いておく
- ・改善した時に死の話をする

どのようにして話すか？

- ・ハンドブックを利用して、なぜ入院しているのか、いま心不全ステージのどこにいるのか、どのような症状があるのか、体重はいくつかなどを聞いて、リハビリの効果(メリット・デメリット)を伝えたり、病状の理解を確認する
- ・どんな風に説明を聞いていますか？と聞いてナラティブで話してもらう
- ・病みの軌跡を患者さんに図に書いてもらう
- ・可視化できるもので自分の意見を書いてもらう
- ・説明をするときに、用意された資料ではなく、敢えて書いて説明する
- ・家族がいても、ご本人へどう思いますか？と声をかける
- ・たわいもない会話(好きなこと、趣味など)・雑談から話を広げてから進めていく
- ・何かを伝えるのではなく、話していることをくみ取る
- ・他の方はどのように意思決定をしているのかのロールモデルを提示する
- ・昔話していた会話を引き出す
- ・聞き取り調査にならないように聴く

- ・先生へ予後予測の IC を依頼したうえで、それであればどのような支援ができると提案する
- ・負担軽減をするような話を家族にしてから、本人の意向をきく

何を話したらよいか？

- ・死に向かうのではなく、生きがいや大切にしていることを話す
- ・ちょっと先の悪いことをイメージしてもらう
- ・やりたいことを聴く

感想

- 多職種の方の経験や意見を聞いてとても参考になった
- 患者・利用者への関わりの中でチームでの関わり方や意思の引き出し、とことん寄り添う関わりも大切であることを学んだ。
- 様々な ACP の話し方を聞いて良かった
- 皆さまの意見を参考にし、今後活かしていきたい。
- 久しぶりの対面カンファレンスは楽しかった、もっとディスカッションしたかった。

次回

半年後を予定